

工場生産能力



西宮工場

稼働: 1985年6月 延床面積: 1,880m<sup>2</sup>  
敷地面積: 4,065m<sup>2</sup> 生産能力: 600t/月



長岡工場

稼働: 1993年5月 延床面積: 3,351m<sup>2</sup>  
敷地面積: 20,877m<sup>2</sup> 生産能力: 1,800t/月



メック台湾

稼働: 2007年8月 延床面積: 3,400m<sup>2</sup>  
敷地面積: 7,400m<sup>2</sup> 生産能力: 900t/月



メックヨーロッパ

稼働: 1996年3月 延床面積: 2,638m<sup>2</sup>  
敷地面積: 5,000m<sup>2</sup> 生産能力: 400t/月



メック中国(蘇州)

稼働: 2002年4月 延床面積: 1,500m<sup>2</sup>  
敷地面積: 4,009m<sup>2</sup> 生産能力: 200t/月



メック珠海

稼働: 2004年5月 延床面積: 2,800m<sup>2</sup>  
敷地面積: 10,000m<sup>2</sup> 生産能力: 300t/月



# Network



自然界が創り出す配線パターン  
例えば、オウムガイの殻

オウムガイの外観は巻き貝によく似ていますが、殻の内部構造は異なります。巻き貝の殻は奥までひと続きですが、オウムガイの殻は間仕切りでいくつもの部屋に分かれており、最も出口に近い広い部屋に体が収まっています。それより奥の部屋は空洞で、ここに溜まったガスでオウムガイは浮き沈みをコントロールしています。



# 産業のグローバル化に対応して、 海外で事業を拡大、 拠点を拡充しています。

製造拠点のグローバル化はますます加速し、地政学的な拡大を続けています。メックグループでは、世界中のどの地域のお客様に対しても、短納期で、日本製と同じ高品質の製品を、万全の技術サポートとともに提供する というコンセプトで海外に製造・販売拠点を展開してきました。現在では世界5地域に現地法人による製造販売拠点を設置し、現地で調達した高品質の原料を用いて高品質の製品を製造するとともに、現地法人がカバーできない地域については当社製品を熟知した代理店を配置し、広く海外展開を進めるお客様のニーズにきめ細かくお応えする体制を整えています。また、各地域の営業部門と研究開発部門との間で密接に情報を交換し、地域のお客様のニーズにお応えする製品を開発しています。

メックグループでは、本社の国際事業センターを中心として、今後も世界に広がるお客様のニーズにお応えすべく、海外事業の拡大と海外拠点の拡充を進めていきます。



本社

## 海外子会社

	設立	業務形態
メック台湾	1994年 5月	製造・販売
メックヨーロッパ	1992年11月	製造・販売
メック香港	1996年 3月	販売
メック中国(蘇州)	2001年10月	製造・販売
メック珠海	2002年12月	製造・販売

メック台湾支店として1990年4月開設

